

## 29日 金曜

### 箴言

30:15 蛭には二人の娘がいて、「くれ、くれ」と言う。飽くことを知らないものが三つある。いや、四つあって、「もう十分だ」と言わない。

30:16 よみ、不妊の胎、水に飽くことを知らない地、「もう十分だ」と言わない火。

30:17 自分の父を嘲り、母への従順を蔑む目は、谷の烏にえぐり取られ、鷲の子に食われる。

30:18 私にとって不思議なことが三つある。いや、四つあって、私はそれを知らない。

30:19 天にある鷲の道、岩の上にある蛇の道、海の真ん中にある船の道、おとめへの男の道。

30:20 姦淫する女の道もそのとおり。彼女は食べて口をぬぐい、「私は不法を行わなかった」と言う。

30:21 地は三つのことによって震える。いや、四つのことに耐えられない。

30:22 奴隷が王となり、愚か者がパンに満ち足り、

30:23 嫌われた女が夫を得、女奴隷が女主人の代わりとなることだ。

30:24 この地上には小さいものが四つある。それは知恵者中の知恵者だ。

30:25 蟻は力のないものたちだが、夏のうちに食糧を確保する。

30:26 岩だぬきは強くないものたちだが、その巣を岩間に設ける。

30:27 いなごには王はいないが、みな隊を組んで出陣する。

30:28 ヤモリは手で捕まえられるが、王の宮殿にいる。

30:29 歩きぶりの堂々としたものが三つある。



いや、堂々と歩くものが四つある。

30:30 獣の中で最も強く、何からも逃げない雄獅子、

30:31 誇らしげに歩くおんどりと雄やぎ、軍隊を引き連れた王。

30:32 もし、あなたが高ぶって、愚かなことをしたり、企んだりしたら、手を口に当てよ。

30:33 乳をかき回すと凝乳ができる。鼻をねじると血が出る。怒りをかき回すと争いが起こる

15節にあるように、自分のために、もっと欲しいと思う者は、人の血を吸う蛭(ヒル)のようです。食欲に気をつけましょう。気が付くとそうなっている場合があります。

「もう十分だ」と満足できることが大切です。与えられているもので楽しく、豊かに暮らすセンスをみにつけ、そして感謝しましょう。

「姦通」などのように、罪を犯してしまうのは、初めは常習性はありませんが、繰り返すうちに道となって、当たり前になって、何も感じなくなってしまう。

24~28節にあるような、これらの動物は取り柄がないようですが、その行動によってすばらしい生活となっています。人も同じです。

①神のみこころは？(信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど)

②どんな思いになりましたか？(感情や願いなど)

③生き方にどう適用しますか？(あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか)

④この世にあって何を実践しますか？

